

## 千葉市のコミュニティ施設における施設間利用の現状と促進の要件

日大生産工（院） ○土屋 貴広  
日大生産工 広田 直行

### 1. はじめに

#### 1-1. 研究の背景と目的

今日の我が国における地縁的なコミュニティ活動を支えるための施設として代表的なものに公民館とコミュニティセンターがある。

公民館は1949年に社会教育施設として旧文部省の管轄のもと整備され、それ以来地域のコミュニティの拠点となっている。一方、コミュニティセンターは1973年に旧自治省のモデルコミュニティ事業として、千葉市をはじめ整備が進められている。

近年、利用者の学習要求の多様化に伴い、公民館・コミュニティセンターではさまざまな活動がみられる。しかし、施設単体ですべての要求を満たすことは困難である。

その問題を解決する有効な手段としてネットワーク化がある。異なる管轄の施設ではあるが、類似する機能を保有する施設同士の連携により、空き室活用・機能補完といった効果があると考えられる。

そこで本稿では、公民館とコミュニティセンターを対象としネットワーク化の可能性を探るため、施設間利用の現状を把握し、利用者が複数の施設での利用に至る要因を明らかにすることを目的とする。ここでいう施設間利用とは、利用者が複数の施設を利用することを指す。

#### 1-2. 研究の対象と方法

本研究では、千葉市の公民館47事例とコミュニティセンター14事例を対象とする。本稿では、調査が終了している公民館44事例とコミュニティセンター14事例について報告する。表1にその概要を示す。

調査方法は、各施設の利用者へのアンケート

表1 調査対象施設概要

|      | 事例No | 施設名        | 建設年  | 延床面積(m <sup>2</sup> ) |
|------|------|------------|------|-----------------------|
| 稲毛区  | 1    | 轟公民館       | 2001 | 1334.82               |
|      | 2    | 黒砂公民館      | 2003 | 767.31                |
|      | 3    | 草野公民館      | 1981 | 505.79                |
|      | 4    | 緑が丘公民館     | 1985 | 540.67                |
|      | 5    | 稲毛公民館      | 1988 | 556.34                |
|      | 6    | 山王公民館      | 1984 | 518.38                |
|      | 7    | 小中台公民館     | 1989 | 948.43                |
|      | 8    | 千草台公民館     | 1979 | 505.13                |
|      | 9    | 都賀公民館      | 1985 | 541.89                |
| 花見川区 | 10   | こてはし台公民館   | 1980 | 503                   |
|      | 11   | 花園公民館      | 1993 | 914.79                |
|      | 12   | 花見川公民館     | 1988 | 604.27                |
|      | 13   | 検見川公民館     | 1980 | 576.48                |
|      | 14   | 朝日ヶ丘公民館    | 1987 | 540.33                |
|      | 15   | 長作公民館      | 1983 | 526.84                |
|      | 16   | 幕張公民館      | 1993 | 1,178.76              |
|      | 17   | 幕張本郷公民館    | 1994 | 735.08                |
| 中央区  | 18   | 葛城公民館      | 1971 | 415.56                |
|      | 19   | 宮崎公民館      | 1998 | 1,173.33              |
|      | 20   | 松ヶ丘公民館     | 1992 | 1,147.52              |
|      | 21   | 新宿公民館      | 2005 | 905.3                 |
|      | 22   | 星久喜公民館     | 1977 | 405.01                |
|      | 23   | 生浜公民館      | 1991 | 809.75                |
|      | 24   | 川戸公民館      | 1974 | 403.84                |
|      | 25   | 椿森公民館      | 1974 | 403.58                |
|      | 26   | 末広公民館      | 1973 | 410.15                |
| 若葉区  | 27   | みつわ台公民館    | 1982 | 606.50                |
|      | 28   | 加曽利公民館     | 1976 | 405.00                |
|      | 29   | 更科公民館      | 1979 | 501.88                |
|      | 30   | 桜木公民館      | 1995 | 693.72                |
|      | 31   | 若松公民館      | 1983 | 507.71                |
|      | 32   | 千城台公民館     | 1972 | 1,033.88              |
|      | 33   | 大宮公民館      | 1978 | 503.50                |
|      | 34   | 白井公民館      | 2005 | 749.8                 |
| 美浜区  | 35   | 磯部公民館      | 1984 | 518.1                 |
|      | 36   | 稲浜公民館      | 1986 | 1184.6                |
|      | 37   | 幸町公民館      | 1987 | 1,062.27              |
|      | 38   | 高浜公民館      | 1988 | 535.31                |
|      | 39   | 打瀬公民館      | 2002 | 780.67                |
| 緑区   | 40   | おゆみ野公民館    | 2006 | 1,098.35              |
|      | 41   | 越智公民館      | 1989 | 625.72                |
|      | 42   | 椎名公民館      | 1975 | 419.9                 |
|      | 43   | 土気公民館      | 1982 | 501.88                |
|      | 44   | 誉田公民館      | 1995 | 1,710.54              |
|      | 事例No | 施設名        | 建設年  | 延床面積(m <sup>2</sup> ) |
| 稲毛区  | 45   | 穴川CC       | 1992 | 2,650                 |
|      | 46   | 長沼CC       | 2006 | 2,653.55              |
| 花見川区 | 47   | 花島CC       | 2005 | 5,185.53              |
|      | 48   | 畑CC        | 1979 | 2,494                 |
|      | 49   | 幕張CC       | 1979 | 3,122                 |
| 中央区  | 50   | 蘇我CC       | 1979 | 297                   |
|      | 51   | 中央CC       | 1974 | 7,485                 |
|      | 52   | 中央CC松波分室   | 2001 | 2,542                 |
| 若葉区  | 53   | 千城台CC      | 1991 | 5,152                 |
|      | 54   | 都賀CC       | 1983 | 2,511                 |
| 美浜区  | 55   | 高洲CC       | 1980 | 3,459                 |
|      | 56   | 真砂CC       | 1981 | 2,212                 |
| 緑区   | 57   | 鎌取CC       | 2000 | 4,829                 |
|      | 58   | 土気あすみが丘プラザ | 1993 | 4,586                 |

表2 アンケート項目

| 基本情報 | 公民館・コミュニティセンターについて | 施設間利用について  |
|------|--------------------|------------|
| 性別   | 移動方法               | 移動方法       |
| 年齢   | 所要時間               | 所要時間       |
|      | 利用する室名称            | 利用する室名称    |
|      | 活動内容               | 活動内容       |
|      |                    | 施設間利用を行う理由 |

調査により施設間利用の現状を把握する。質問項目を表 2 に示す。

2. 集計結果

アンケート回答者の総数を表 3 に示す。

2-1. 利用者属性と移動手段

図 1 より、各区の公民館、コミュニティセンターの利用者数は女性が 50%以上を占めていることがわかる。

また図 2 より、移動手段は美浜区を除くすべての事例で、大半を車が占めていることがわかる。美浜区においては、施設間の距離が他の区に比べ近接しており、車での利用率の低下に影響していると考える。

2-2. 施設間利用者数と利用率

図 3 より、全施設の施設間利用率の平均は 30.7%であるが、最も高い施設で 75%, 低い施設では 0%と施設によって差がある。各区の公民館、コミュニティセンターの平均をみると、美浜区が 42.7%と比較的高いのに対し、花見川区では 17.2%と全体の平均を下回っていることがわかる。

3. 施設間利用について

3-1. 施設間利用を行う施設との距離

アンケートを実施した施設から施設間利用を行う施設までの距離は、1.0km-2.0km 圏の施設の利用が多くみられ、近隣の施設で施設間利用が多く行われているといえる。しかし、他の区に比べ広範囲に施設が位置している若葉区、緑区では 5.0-8.0km 圏の利用が比較的多くみられる。

図 4 に施設間利用を行う施設との位置関係を示す。ここでは、施設間利用率の高い施設のうち事例No.27, 36, 40 と施設間利用率の低い施設のうち事例No.10, 21 を紹介する。施設間利用率が高い施設では、アンケートを実施した施設から近い施設を利用していることがわか

表 3 アンケート回答者数

| 区分        | 稲毛区         | 花見川区        | 中央区         | 若葉区         | 美浜区         | 緑区          | 合計    |
|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------|
| アンケート回答者数 | 506人<br>19% | 535人<br>20% | 595人<br>23% | 365人<br>14% | 306人<br>12% | 332人<br>13% | 2639人 |

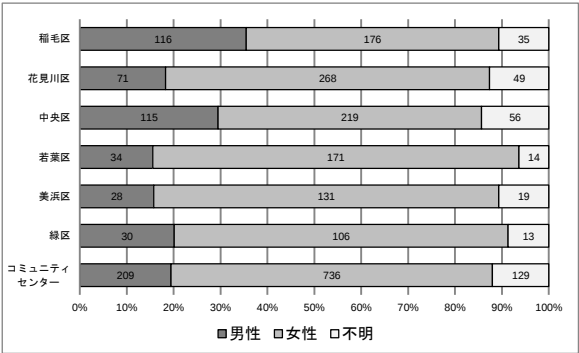


図 1 男女別利用者数

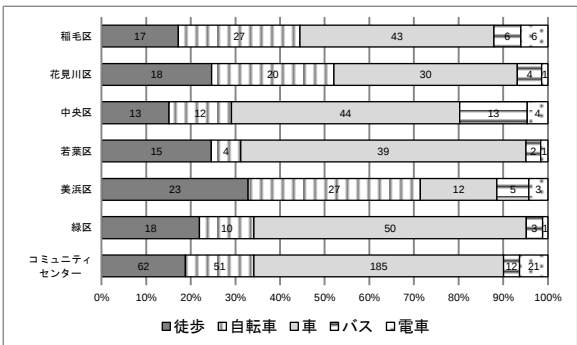


図 2 移動手段

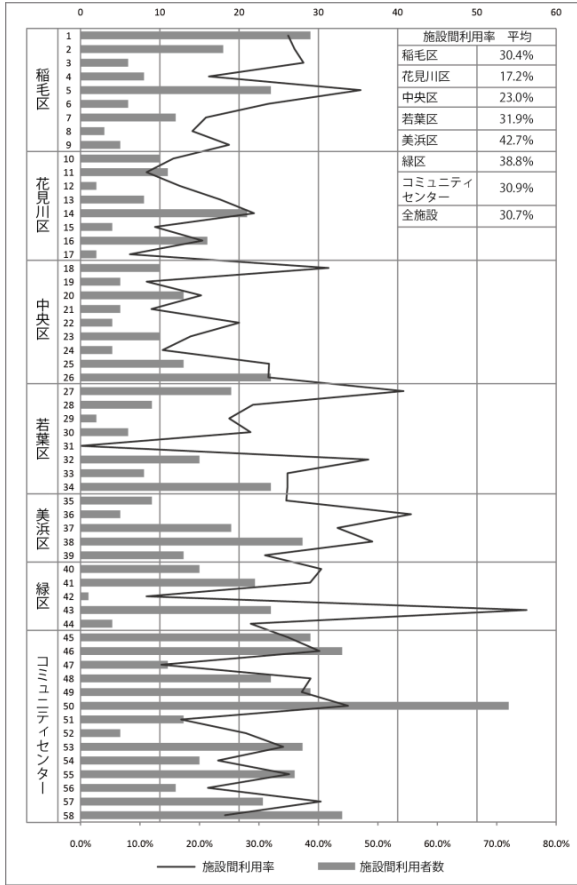


図 3 施設間利用者数と利用率

る。一方、施設間利用率が低い施設では、近隣の施設の利用は少なく、離れた距離の施設を利用していることがわかる。

これより、施設間利用が広範囲に及んでいることが施設間利用率の低下に影響する要因であると考ええる。

3-2. 施設間利用を行う際の室と活動内容

施設間利用を行う際に利用する室について、アンケートを実施した施設にその室と同様の機能諸室があるかをみる。

図 5 より、施設間利用先で利用する室と同様の室を有している場合が大半を占めていることがわかる。しかし、僅かではあるがアンケートを実施した施設にはみられない室を利用している場合があり、施設間での機能の補完が行われているといえる。

機能の補完が行われる場合に利用される室をみると、体育館などのスポーツを行う室と音楽室の利用が多くみられる。これらの室を利用する施設間利用者は、公民館からコミュニティセンターへの利用に限られており、公民館に音楽、体育活動を行うための専用の室が存在しな

いたためであると考ええる。  
また表 4 より、機能の補完が行われる場合の活動内容として、体育館での卓球と音楽室での合唱が多くみられる。

3-3. 施設間利用を行う際の理由

図 6 より、施設間利用を行う理由として最も多いのは「違う活動を行うため」というもので

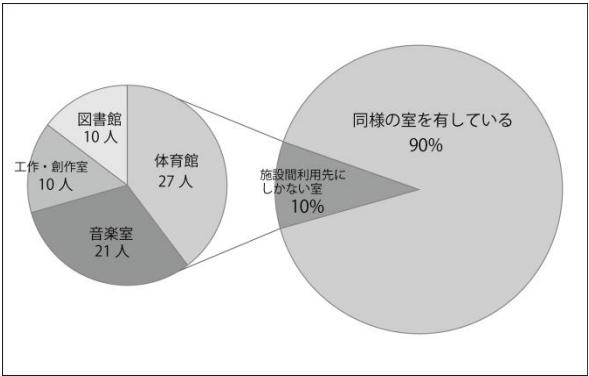


図 5 施設間利用先で利用する室

表 4 機能補完時に利用する室と活動内容

| 室名  | 活動内容    | 人数 | 室名   | 活動内容   | 人数 |
|-----|---------|----|------|--------|----|
| 創作室 | 書道      | 1  | 体育館等 | 剣道     | 1  |
|     | 手芸      | 1  |      | 水泳     | 2  |
|     | 陶芸      | 2  |      | バレーボール | 2  |
|     | アートフラワー | 2  |      | 体操     | 4  |
|     | ダンス     | 6  |      | 卓球     | 13 |
| 音楽室 | 演奏      | 3  |      | バトミントン | 2  |
|     | 合唱      | 11 | 図書館  | テニス    | 3  |
|     | 民謡      | 1  |      | 本を借りる  | 5  |
|     | カラオケ    | 1  |      |        |    |

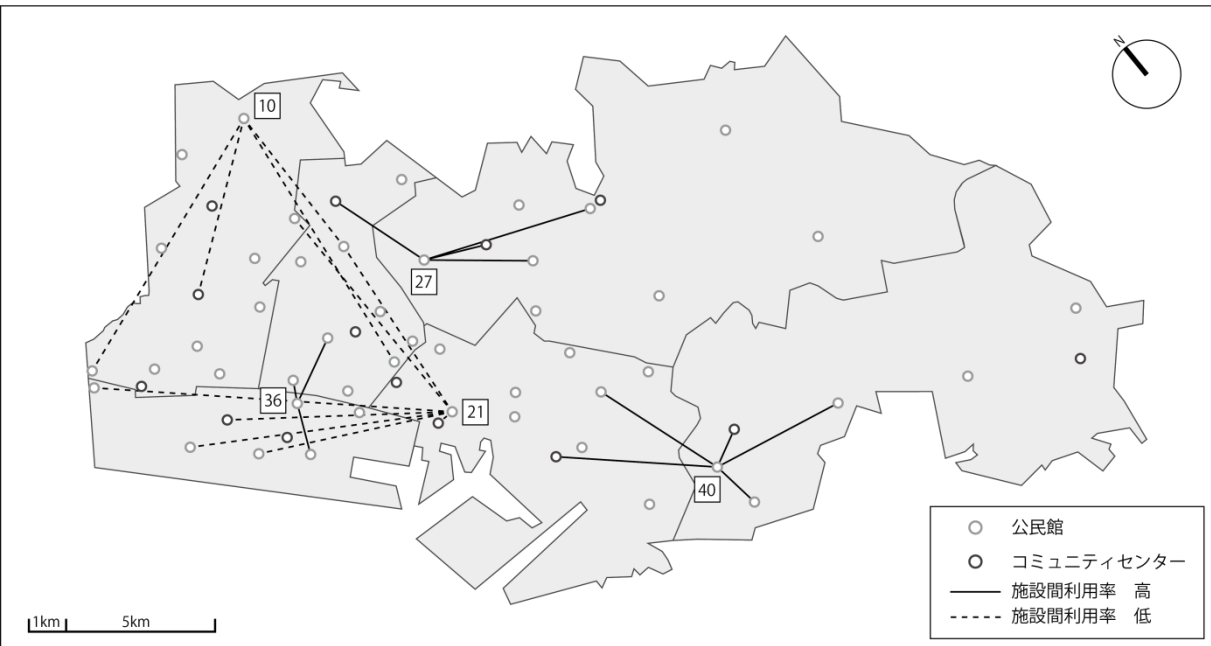


図 4 施設配置と施設間利用先の施設

ある。また、「違う活動を行うため」と答えた人のうち、違う内容の活動を行っている人が42%、活動内容は同じだが違うサークルに入っているという人が33%となっており、違う内容の活動を行っている人が多いことがわかる。

図7は、「その他」の理由の詳細である。これより、「自宅から近い」という回答が最も多いことがわかる。

また、「月2回までしか利用できないため」といった利用回数の制限や、「利用料が高いため」といったコミュニティセンターにおける諸室の有料化等、施設側の施策によって施設間利用が行われているといえる。

また、諸室の広さを理由に施設間利用を行っているという回答がみられ、室面積が施設間利用に影響があるといえる。

#### 4. まとめ

施設間利用は平均すると3割ほどの利用者が行っているものの、施設によって格差化大きい。

施設間利用を行う際の施設との距離は、近隣の施設を利用する場合が多く、施設間利用率が高い施設でも同様に近隣の施設を利用している。一方、施設間利用率が低い施設では、広範囲に利用が及んでいる。

施設間利用のうち90%を空き室活用が占めており、10%が機能の補完を行っている。また、機能の補完の際に利用が多い室は体育館と音楽室である。

施設間利用を行う際の理由として最も多いものは「違う活動をするため」という回答である。施設の利用回数の制限や諸室の有料化等、施設側の施策によって施設間利用が行われているといえる。また、利用する諸室の室面積が施設間利用に影響する要因といえる。

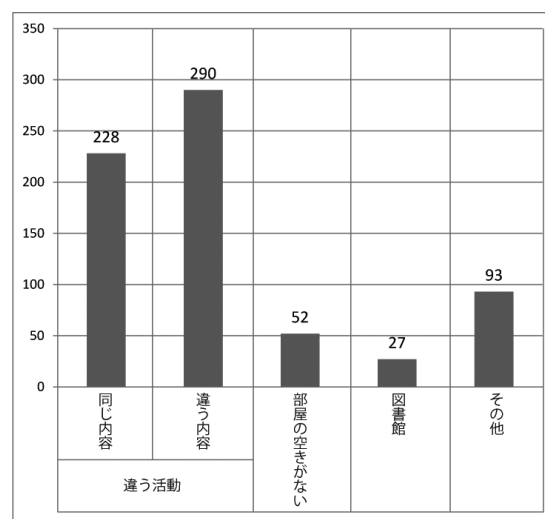


図6 施設間利用を行う理由

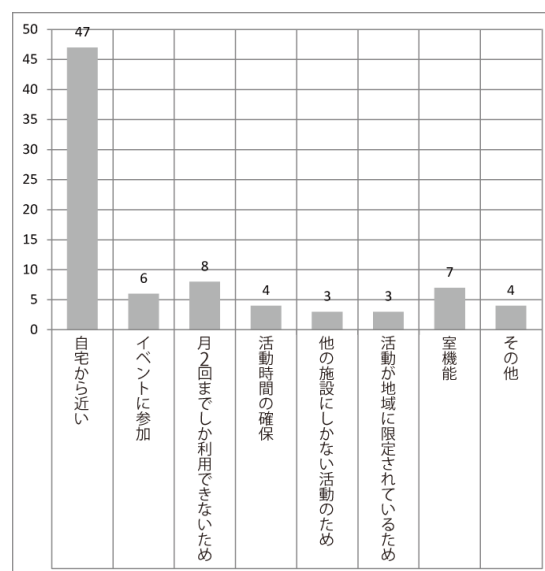


図7 その他の理由の詳細

#### [注釈]

※ 施設が付近になれば遠方の施設も利用せず、かつ近傍に設置要求も高まらない。逆に付近に施設があれば、これをステップとして広域に類似した高度な施設を利用する。そしてこの場合の方が設置要求は高まる、という心理学的現象「学習効果」のひとつである。

#### [参考文献・資料]

- 1) 片桐隆博：千葉市コミュニティ施設における学習行為と空間の対応
- 2) 渡辺光雄：地域計画における公共施設の設置計画に関する研究 S. B. 現象について その1